

2003年3月25日

東京外国為替市場委員会第61回会合議事録

開催日時	2002年2月26日 13:00～15:30
場 所	日本銀行本店新館 9階大会議室
議 長	荻野 哲司 (東京三菱銀行)
副 議 長	小林 和成 (ステート・ストリート銀行)
副 議 長	加島 章雄 (みずほコーポレート銀行)
書 記	川添 敬 (日本銀行)
参加委員数	14名 (別紙)

議長選任の件

荻野議長(東京三菱銀行)より、議長の任期が満了するため、同役職について選任を行いたい旨、報告されました。荻野議長から再任の意思が表明され、満場一致で再任が決定されました。

Code of Conduct 改訂

中島 Code of Conduct 小委員長(スタンダード・チャータード銀行)より、改訂版 Code of Conduct のドラフトに関し、細部の表現について前回本会合で小委員会に一任された箇所について報告があり、その変更内容が承認されました。

また、新たに以下の点について討議がなされ、基本的な合意が得られました。各委員は小委員長から送付される最終ドラフトに対し意見等がある場合には、3月14日までにコメントを全委員に送付することが決定されました。意見が寄せられない場合は、同案をもって最終版として採択することとなりました。

- 1) 第22条(「電子取引」)については、「電子ブローキング」と「対顧客オンライン取引」の項目を再編するなど、他の条項と平仄を合わせたほか、第4項(電子取引システムの利用した不当な利益を得る操作の禁止)を挿入する。
- 2) 第31条(「取引受渡日基準」)については、第1項では、米ドル/円のみならずクロス円も包含する形式に変更し、第4項では、統一ルールの適用が困難な例として、ユーロを明示する。

- 3) 第 26 条(「オフマーケットレート」)第 2 項については、オフマーケットレート使用の適否について、与信、公正性の観点から慎重に判断されなければならないことが明確になるよう修正し、また使用時には「キャッシュ・フローの概念をプライシング上考慮に入れるべき」である旨を明示する。
- 4) 第 31 条 付録については、受渡日についての事例を挙げるとともに、例外について説明する方向で小委員会案を作成する。

各小委員会活動報告

各小委員会より、活動状況について以下の通り報告がありました。

(1) CLS 小委員会

市川小委員長(みずほ銀行)より、ロンドン市場委員会から、「第 57 回議事録内容(「CLS 稼働開始後の問題点 海外ボイス・ブローカーの状況」)に関し、一部ロンドンのボイスブローカーのコンファメーションに CLS の表記がなく、CLS・非 CLS の確認に東京のブローカーが手間取る事例があるとの記述について、ロンドン市場委員会で議題として持ち出す用意があるが、東京市場委員会はまだこの問題に関心を持っているか」との照会を受け、これに対し先方に「現状を調査した上で返答する」と伝えた旨、報告がありました。

続いて野口オブザーバー(マネーブローカーズ・アソシエーション)より、現状調査の結果として、「こうした事例は、ロンドンサイドの CLS への理解の深まりと共に、件数として減少傾向にある」旨、また「ロンドンブローカー協会に、ブローカーの CLS への対応につき照会中である」旨、報告がありました。

これを受けて、市川小委員長より、小委員会として以下の内容の返答を送付したいとの意向が示され、承認されました。

CLS・非 CLS のコンファメーションのミスマッチは状況として好転しているものの、依然として同様の事例が散発的に発生している。状況改善のため、ブローカー各位に注意を喚起していただけるとありがたい。決済自体が遅延しているのではなく、settlement instruction のコンファメーションマッチングの遅延が問題となっている。

(2) 広報小委員会

神田小委員長(ロイター・ジャパン)より、香港市場委員会の広報小委員会委員長 Anthony Yuen 氏の来訪、及び面談について以下の報告がありました。(当方対応：神田小委員長、居村オブザーバー(東京三菱銀行)、川添委員(日本銀行)、中田オブザーバー(日本銀行))。

- 1) Yuen 氏はアジアの姉妹委員会との連携強化の一環として今回の訪日を位置づけている。クアラルンプールで香港、シンガポール、東京の 3 委員会で開いた合同会合は有意義であったことが確認された。

2) 香港市場委員会の活動状況について次のような説明を受けた。

以下の3つの小委員会が設置されている。

) マーケットルール・コード小委員会 (新たなプロダクト、インストゥルメント、トレード手法の周知、取引ガイドラインの策定)

) 教育小委員会 (市場参加者への教育活動)

) イベント・広報小委員会 (広報活動一般)

CLS については現状議論のテーマとして取り上げてはいないが、東京での活発な議論については認識しており、今後香港ドルが CLS 通貨となる際の参考となろう。

(3) 市場調査小委員会

加島小委員長 (みずほコーポレート銀行) より、2月13日の小委員会会合につき、以下の報告がありました。

1) FX Platform 大倉氏からの、個人為替取引の現状に関するレクチャーにおいて、以下の議論が行われた。

大倉氏の把握している情報によれば、市場規模は、東京市場の為替取引高 (80-120 億ドル/日) の最低2%位 (2億ドル/日) と予想され、将来的には10%くらいまで達すると考えられる。取引業者数は昨年11月段階で80社を超えている。98年4月の外為法改正以来、ITの発展、Payoff 解禁の問題を背景として、個人の外貨建て資産に対する関心が高まり、こうした市場の成長につながっている。

同取引に管轄行政官庁がなく規制も少なく、一部では証拠金持ち逃げ等による詐欺被害に遭っている個人投資家もいる模様。こうした被害を防ぎ市場の健全な発展を目指すべく、一部に業界団体結成の動きがある。

2) これらをふまえ、以下のようにディスカッションが行われた。

邦銀が同取引に慎重な理由に関しては、市場熟成を待つ、もしくは他行の動向をにらんだうえでの経営判断が多い点や、銀行法上、証拠金取引を業として行うことが現状不可である点、等が指摘された。

個人為替取引業者による業界団体が設立された場合には、市場活性化の観点から、個人投資家の外国為替取引の健全な発展に向けて、東京外為市場委員会との関係について検討することが考えられる。

(4) NDF 小委員会

稲村小委員長 (シティバンク) より、以下の報告がありました。

1) 国内アンケート結果について (回収率 47%)

NDF 取引の現状については、回答先の半数が行っていないが、既存取引行については約 9 割の先で取引ボリュームが増加。取引通貨は韓国ウォンと台湾ドルが取引量の観点から突出。

今後の取り組みについては、行っていない先の約 4 割が開始すると回答。既存取引行の多くは取引を増やす予定。顧客ビジネスは約 9 割が増えていると回答し、先行きに関してもポジティブな見方をする先が大多数。ブローカーのみを使う先は少数で、銀行とのダイレクト取引と併用する先が大多数。

コンファメーション実務については、自行発では約 9 割がレターのみであり、これに対する署名返却は 3 割以下の可能性が高い。相手行からのコンファメーションは約 6 割がレターのみ。原則的にこれに対して返送するとした先は 3 割であった。

NDF コンファメーションの標準化については、8 割以上が賛成。

2) 海外アンケートについて

2 月中旬にアジア各国の 15 行、及びシンガポール、香港各市場委員会に対し、英文挨拶状、アンケート、コンファメーション雛形を e-mail で送付。

2 月末日までの回答を依頼。

送付したアンケートを市場委員会 Web サイトに掲載。

3) 今後の方針について

海外アンケートの回収後、結果を参加行及びシンガポール、香港、ソウル各市場委員会にフィードバック。

アンケート結果を検討した上で可能であれば、内外銀行の賛同を得て、東京市場委員会が推奨する形で、コンファメーション雛形を提示することを考慮。

上記 3 市場委員会に、NDF に関する考え方を協議する方向でコンタクトを試みる。

その他

荻野議長から以下の報告がありました。

- 1) シンガポール市場委員会議長との面談
- 2) ECB FX Contact Group とのコンタクトリスト交換

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(2月26日現在)

< 委員 >

議長	荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長	加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
書記	川添 敬	(日本銀行)
運営小委員長	加藤 博光	(野村証券)
広報小委員長	神田 紀昭	(Qイター・ジャパン)
教育小委員長	今井 雅人	(UFJ 銀行)
法律問題小委員長	金上 孝	(三菱信託銀行)
E コマース小委員長	野手 弘一	(三井住友銀行)
CLS 小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF/CFD 小委員長	稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	花生 浩介	(ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド)
	梨本 忠彦	(バークレイズ銀行)
	竹川 雅祥	(メッセリオンチ日本証券)
	石川 栄一	(イービー・エス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	伊藤 一雄	(トウキョウフオレックス上田ハロー)

< オブザーバー >

	野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	中田 勝紀	(日本銀行)
	居村 元	(東京三菱銀行)
	竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。 は今回出席。